

## 平成 16 年度主要建設資材需要見通しの概要

### 1. ま え が き

建設投資動向と密接な関連のある建設資材の需要動向は、建設投資の厳しいなか減少している。先に報告した建設投資見通しに引続き、国土交通省から発表された「平成 16 年度主要建設資材需要見通し」についてその概要を報告する。

### 2. 主要建設資材需要見通し

表一に主要建設資材の需要実績と見通しを示す。  
平成 16 年度の主要建設資材の需要は、建設投資が前年度比 4.2

% 減（実質値；平成 7 年度の物価水準で評価した値），うち建築投資では 0.2% 減，土木投資では 8.8% 減になる見通しから，主要建設資材 6 資材 9 品目の普通鋼鋼材のうちの形鋼は横ばいで推移するほかは減少する見通しである。

平成 15 年度の主要建設資材の需要量は，建設投資が前年度比 5.0% 減（建築投資 1.7% 減，土木投資 8.5% 減）になることから，形鋼は前年度比 1.6% 増のほかは減少になる。

### 3. 主要建設資材需要量の年度推移

図一に主要建設資材需要量の年度別推移を示す。  
ほとんどの主要建設資材は，バブル最盛期の平成 2 年度にピークに達し，以降鋼材の急激な落込み，さらに品目の差はあるもののすべてが下降に転じた。補正予算による公共工事関連予算が増額された平成 5 年度から徐々に回復して平成 8 年度に安定したかに見えたが，再び下がり平成 12 年度以降はすべてにわたり漸減している。

表一 平成 16 年度主要建設資材需要見通し

名称・単位	需 要 量			伸び率 (%▲マイナス)	
	平成 14 年度 実 績	平成 15 年度 実 績	平成 16 年度 見 通 し	15/14	16/15
セメント (内需量) (万 t)	6,351	5,969	5,700	▲6.0	▲4.5
生コンクリート (出荷量) (万 m <sup>3</sup> )	13,174	12,508	11,900	▲5.1	▲4.9
骨材 (供給量) (万 m <sup>3</sup> )	44,250	41,424 (推計値)	38,700	▲6.4	▲6.6
砕石 (出荷量) (万 m <sup>3</sup> )	19,150	17,927 (推計値)	16,700	▲6.4	▲6.8
木材 (製材品出荷量) (万 m <sup>3</sup> )	1,427	1,404	1,375	▲1.6	▲2.1
普通鋼鋼材 (建設向け受注量) (万 t)	2,583	2,518	2,440	▲2.5	▲3.1
形 鋼 (建設向け受注量) (万 t)	562	570	570	1.6	0.0
小型棒鋼 (建設向け出荷量) (万 t)	1,070	983	940	▲8.2	▲4.4
アスファルト (建設向け等内需量) (万 t)	337	323	300	▲4.1	▲7.1

(表の注釈)

需要見通し推計方法

「平成 16 年度建設投資見通し」の建築（住宅，非住宅），土木（政府，民間）等の項目ごとの平成 16 年度建設投資見通し額に，建設資材ごとの原単位（工事費 100 万円当たりの建設資材需要量）を乗じ，各建設資材の需要実績等を考慮して，平成 16 年度の主要な建設資材の国内需要の推計を行った。

用語の定義

セメント 内 需 量：国内メーカーの国内販売量+海外メーカーからの輸入量

生コンクリート 出 荷 量：全国生コンクリート工業組合連合会組合員の工場出荷量+その他工場の推定出荷量

骨 材 供 給 量：国内供給量+輸入量

砕 石 出 荷 量：メーカーの国内向け出荷量

木 材 製 材 品 出 荷 量：国内メーカーの製材品出荷量  
建設向け以外の量，製材用素材として外材を含む

普通鋼鋼材・形鋼建設向け受注量：国内メーカーの国内建設向け受注量

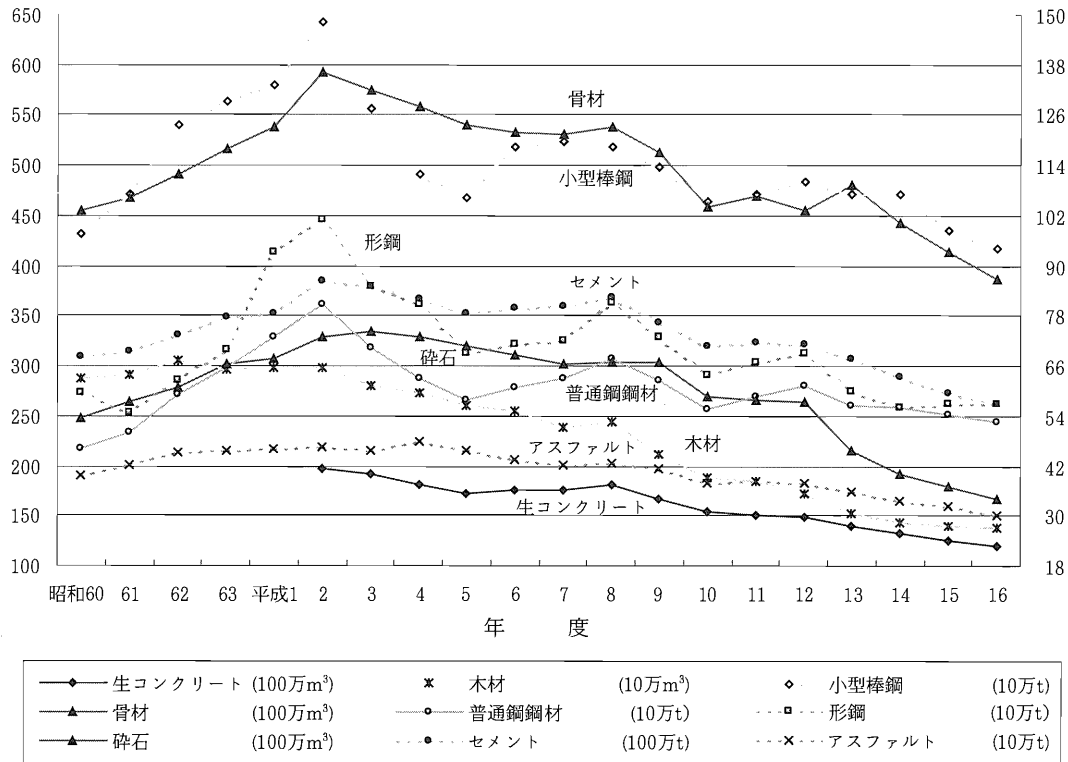
小型棒鋼建設向け出荷量：国内メーカー及び国内販売業者からの国内建設向け出荷量  
ただし，海外メーカーからの輸入量は含まない。

アスファルト建設向け等内需量：国内メーカーの建設向け内需量+建設向け輸入量

### 4. 主要建設資材の価格動向

図二に全国各都市平均の主要建設資材の価格推移を平成 7 年平均を 100 とした物価指数で示す。

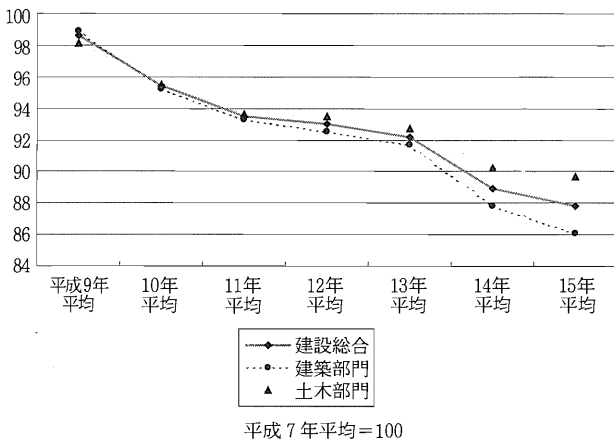
建設需要が下降線をたどっている状況下で，価格も低水準で留まっている。平成 15 年平均では，建設総合で前年比 1.1 ポイント減の 87.8，建築部門前年比 1.7 ポイント減の 86.1，土木部門前年比 0.5 ポイント減の 89.7 と一段と低下した。しかし，図三は引続き最近の傾向を示したものであるが，5 月の前年同月比では建設総合 2.5 ポイント増，建築部門 1.2 ポイント増，土木部門 4.1 ポイント増であり，2 月から上昇傾向にある。



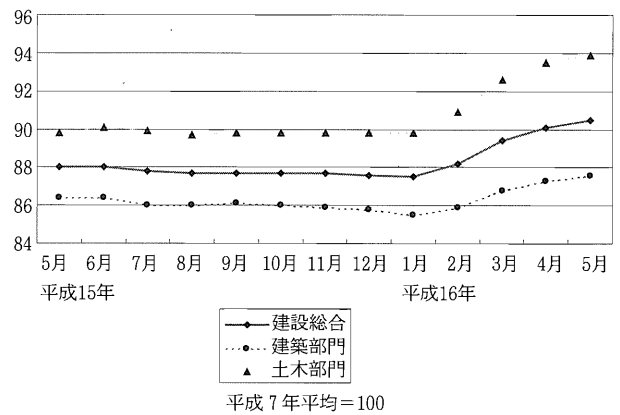
グラフの見方

- ・実線（生コンクリート、骨材、砕石、木材、普通鋼鋼材）：左軸を参照。
- ・点線（セメント、小型棒鋼、形鋼、アスファルト）：右軸を参照。
- ・生コンクリートについては、平成2年度以前のデータの集計方法が異なるため未掲載。
- ・平成15年度の需要量は実績値（一部実績見込み値を含む）。
- ・平成16年度の需要量は見通し。

図一1 主要建設資材需要量の年度推移（昭和60年度～平成16年度）



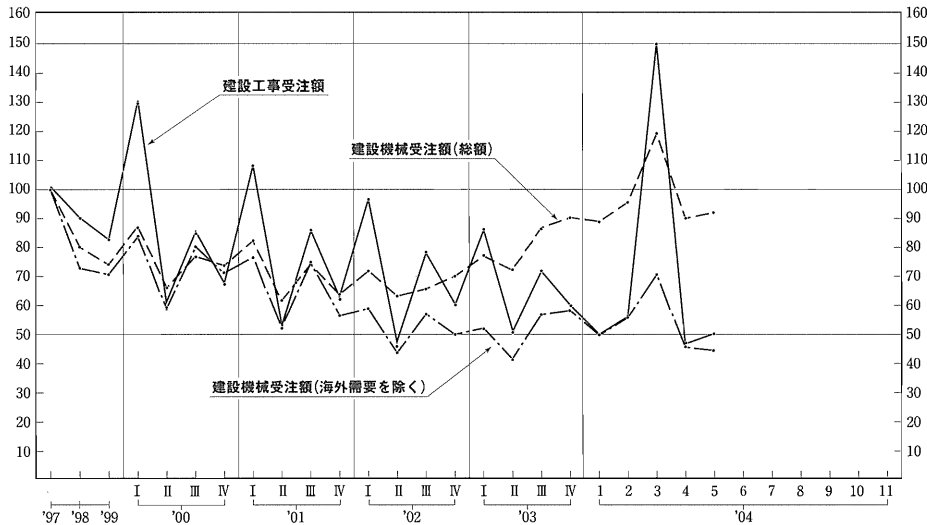
図二 建設資材物価指数の推移（全国平均）  
資料出所：財団法人建設物価調査会



図三 最近の建設資材物価指数の動向（全国平均）  
資料出所：財団法人建設物価調査会

### 建設工事受注額・建設機械受注額の推移

建設工事受注額：建設工事受注動態統計調査（大手50社）（指数基準 1997年平均=100）  
 建設機械受注額：機械受注統計調査（建設機械企業数25前後）（指数基準 1997年平均=100）



建設工事受注動態統計調査（大手50社）

（単位：億円）

年 月	総 計	受 注 者 別						工 事 種 類 別		未 消 化 工 事 高	施 工 高
		民 間			官 公 庁	そ の 他	海 外	建 築	土 木		
		計	製 造 業	非 製 造 業							
1997年	188,683	116,190	21,956	94,234	55,485	5,175	11,833	122,737	65,946	204,028	201,180
1998年	167,747	103,361	16,700	86,662	51,132	4,719	8,535	106,206	61,541	193,823	183,759
1999年	155,242	96,192	12,637	83,555	50,169	4,631	4,250	97,073	58,169	186,191	164,564
2000年	159,439	101,397	17,588	83,808	45,494	6,188	6,360	104,913	54,526	180,331	160,536
2001年	143,383	90,656	15,363	75,293	39,133	6,441	7,153	93,605	49,778	162,832	160,904
2002年	129,862	80,979	11,010	69,970	36,773	5,468	6,641	86,797	43,064	146,863	145,881
2003年 5月	7,330	5,352	1,144	4,209	1,212	377	389	5,138	2,192	138,597	8,973
6月	9,250	6,208	655	5,553	2,251	422	369	6,387	2,863	139,002	9,071
7月	9,039	6,001	882	5,119	2,178	379	481	6,209	2,830	137,348	10,548
8月	9,127	5,913	730	5,183	2,495	385	334	6,556	2,571	136,652	9,883
9月	15,655	11,002	1,574	9,428	3,491	510	652	11,400	4,255	139,461	12,860
10月	8,321	5,288	836	4,452	2,288	338	407	5,731	2,590	137,588	10,165
11月	8,891	6,297	851	5,446	1,738	437	419	6,343	2,548	135,082	11,690
12月	10,831	7,216	987	6,228	2,484	445	687	7,724	3,107	134,414	11,288
2004年 1月	7,910	4,989	742	4,246	2,129	405	388	5,254	2,656	132,518	9,474
2月	8,884	5,717	1,034	4,683	2,285	449	434	6,112	2,772	130,925	10,702
3月	23,526	15,435	2,484	12,951	6,642	571	878	15,507	8,019	137,397	16,781
4月	7,383	5,867	1,225	4,642	720	259	438	5,571	1,813	136,486	8,919
5月	7,033	5,175	862	4,313	1,098	370	391	5,183	1,851	—	—

### 建設機械受注実績

（単位：億円）

年 月	'97年	'98年	'99年	'00年	'01年	'02年	'03年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'04年 1月	2月	3月	4月	5月
総 額	12,862	10,327	9,471	9,748	8,983	8,667	780	797	865	880	1,030	985	857	1,045	955	1,021	1,291	965	975
海 外 需 要	3,931	4,171	3,486	3,586	3,574	4,301	495	472	513	509	563	513	487	676	606	659	800	653	624
海外需要を除く	8,406	6,156	5,985	6,162	5,409	4,365	285	325	352	371	467	472	370	369	349	362	491	312	351

（注）1997年～1999年は年平均で、2000年～2003年は四半期ごとの平均値で図示した。

出典：国土交通省建設工事受注動態統計調査  
 内閣府経済社会総合研究所機械受注統計調査